

「災害時外国人サポーター入門研修（亀岡市）」

（会場：ガレリアかめおか）

日 時 平成 26 年 9 月 27 日（日） 13:30 ～ 16:00

主催等 主催：亀岡国際交流協会、当センター 後援：京都府、亀岡市

参加者 19 名

内 容 **講義 & 演習** 土井佳彦氏（NPO 多文化共生リソースセンター東海代表理事）

・ 多言語支援センターとは？

－歴史（2007 年新潟中越沖地震に初めて設置）

－機能（支援拠点）、役割（外国人被災者に「安心」してもらう）

・ 亀岡市の国籍別外国人数

→国籍により必要な言語が推定可能。亀岡市では、中国語、フィリピン語、ベトナム語などが必要か？

・ 災害多言語支援センターの活動（総務、情報、翻訳、巡回、相談）

－総務班や情報班は外国語が話せなくても活動できる。

－相談対応、情報提供では、スタッフで情報の内容を統一しておく。

演習 「避難所巡回や相談対応時にこんな質問を受けたらどうする？」

※読み役がカードに書かれた設問を読み上げ、残り 4 名が YES / NO に
挙手。それぞれの判断理由を簡単に述べる。

・ やさしい日本語について

※時間がなく、演習は行えなかった。